

令和 8 年度第 1 回小牧市立図書館選書委員会会議録

1 開催日時 令和 8 年 8 月 2 8 日（金）午前 1 0 時 0 0 分～午前 1 1 時 0 0 分

2 開催場所 図書館 4 階 多目的室

3 出席委員 委員長 佐野 吾朗
副委員長 白木 泰子
委 員 加藤 亜衣
〃 落合 小百合
〃 野地 優香里

事務局 大野館長
花里係長
宮崎
齋藤
片野

傍聴者 0 名

4 議題 （1）選書について
（2）その他

5 会議資料 次第 選書資料（資料 1 ・資料 2）

6 議事内容

（1）選書について

選書資料 1 『軍記物語創成』について

結論：可

【佐野委員長】不可

自分は不可としました。今日の 6 冊の中で、一番読み手を選ぶかと思います。非常に利用対象が限られるかということ、これを所蔵した時にどれぐらい利用があるのかということ considering 不可としました。

【落合委員】可

私は可にしました。この本のはじめにの部分に「前著『平家物語を読む-成立の謎をさぐる-』に続く2冊目の論文集となる。」と書いてあり、前に読んだ方は読みたいだろうと思ひ、可にしました。

【加藤委員】可

私も可にしました。私も落合委員と一緒に、前にも同様の本があったということ、さらにこれだけの論文を書かれているということと、「平家物語」と同じ時代にできた「吾妻鏡」との比較が書いてあることが、個人的には興味深いと思いました。この分野を研究している学生にとっては、ニッチな分野のものだろうと思ひ可にしました。

【野地委員】不可

私は不可にしました。先ほど、佐野委員長が言われたとおり、読み手を選ぶというところ、(類本の)貸し出し履歴を見ると、手を伸ばされる方も少ないと思いました。こういった分野に興味があり、研究をされている方にはとても有効な本だろうとは思ひましたが、不可にしました。

【白木副委員長】可

私は可にしました。物語の成り立ちを初めから明らかにしていることと、(他の委員が)おっしゃったように、興味のある方にとってはバイブルのようになるのではないかと思います。この本は読み手を選びますが私は可といたしました。

【佐野委員長】

多数決の結果、購入可とします。

選書資料2 『理論生物学』について

結論：可

【落合委員】可

可にしました。ぱっと見だとよくわからないのですが、内容が細かい項目ごとに分かれ

ていて、少し読むとわかりやすいと思ったため、可にしました。

【加藤委員】可

私も可にしました。常に情報が新しくなる分野の内容ならば新しいものが必要だろうと思ひ、可にしました。

【野地委員】可

私も可にしました。事典という形式で、一つのキーワードがあり、それに対して具体的な見解が書かれていると初心者でも読み始めやすいと思います。資料にある類本のように貸出不可とされている本が図書館には多いようなので、手を伸ばしやすい事典形式の本は所蔵してもいいのではないかと思います。

【白木副委員長】可

私も可です。私自身としては、ページを開くことはおそらくないと思うのですが、その分野に興味がある方には利用価値がとてもあり、必要なものなのだろうという気がします。

【佐野委員長】可

自分も可にしました。本当に幅広い事柄が書かれていて、準備していただいた類似の本ともまた違った形で、話題がたくさんあり新しく比較的読みやすいです。門外漢の自分が読んでも、なんとなく読めるということもあり、このような事典類は必要なのだろうと思いますので、可にしました。

【佐野委員長】

こちらについては全員一致で可とします。

選書資料3『墨ぬり教科書』について

結論：可

【加藤委員】可

私は可にしました。自分が学校教育に携わっているからかわかりませんが、戦後の教育

はとても興味深く、今日は他にも類本がありましたが、墨塗り教科書自体も、実物としてはそう多くは残っていない中で、これだけ資料を集めて、一点一点細かく調査し、一冊にまとめたというのは、大変価値があるのではないかと感じました。

【野地委員】可

私も可にしました。加藤委員と同様なのですがそれに加えて、黒塗りをしなければならぬ時代の背景から、戦争という主題に関心を持てるような一冊にもなると思います。戦争の戦うところとか精神的なところというよりも、日常生活を垣間見ることができるという点から見ても所蔵していいのではないかと思います。

【白木副委員長】可

私も可です。まず、シンプルに非常に興味深かったことと、次に、ある意味歴史の暗部を経て今があるということ、悲しい現実だっただろうという気もしますが、それも学べるため、この本は大切だと思います。

【佐野委員長】可

自分も可にしました。まず、タイトルだけを見ても手に取ってみようと思います。また、内容を見ても資料がたくさんあり、本当に良くまとめられているなということと、意外とその資料が複数愛知教育大学にあると記載されており、身近なところに大切な資料があると改めて知ることができ、面白いと思いました。

【落合委員】可

私も可です。本当にパッと見た時から、読みたいと感じる表紙でいいなと思いました。何がどのように塗られたのかというのがすごく興味深く、資料と写真がたくさん載っていたのでとても分かりやすかったです。ただ重量がありますよね。

【白木副委員長】

そうですね。でもタイトルが本当に良いですね。

【佐野委員長】

こちらについても全員一致で可とします。

選書資料4『洛中洛外図屏風の歴史学』について

結論：可

【野地委員】 不可

屏風という主題に興味のある人が多いことは貸し出しの履歴を見て分かりました。私はあまり存じ上げないのですが、貼り札にスポットを当てている作品は、他にないだろうと思います。ただ、屏風と言う割には、モノクロの写真しかないという点が、とても残念な感じがします。流れを知る上ではとても大事なものだとは思いましたが、可寄りの不可にしました。

【白木副委員長】 可

私は可にしました。屏風についてこんなに詳しく歴史的に考察したものが他に思い当たらないため、これは面白いと思いました。しかも読みやすかったです。ビジュアル的にも見やすかったです。

【佐野委員長】 可

自分も可にしました。論の視点が面白い。屏風の作り方についての視点もあり、屏風に描かれている内容についての視点もあり、とても多角的に「屏風」というものが扱われていました。野地委員が言われたとおりカラーの資料があると良かったですが、今までにない視点の本だと思ったため可にしました。

【落合委員】 可

私も悩んで可です。私もやはりカラーの絵がもう少しあると良いと思いましたが、資料にある検索ワード(洛中洛外図)から、借りられている方がたくさんみえ、歴史学という点でも、興味があるのかと思い可にしました。

【加藤委員】 可

私も悩んで可にしました。皆さんと同じく白黒なのが少し残念だと思いましたが、他の本や資料で補えるだろうと思いました。美術史としてだけでなく、歴史学としてももちろん、文化史や外交史などいろいろな視点で読めるのだろうと思ったため、迷いましたが可にしました。

【佐野委員長】

こちらについては多数決で可とします。

選書資料5『国家神道の現代史』について

結論：可

【白木副委員長】可

私は可です。今、天皇問題もいろいろと議論されていますし、改めて正しい知識を得ることは大事だと思いました。また、ここまでずっとお高い本だったのでお値段がお手頃なことも含め、そういった意味でもこれは可です。

【佐野委員長】可

自分も値段が安いということ（で買って良いかと。）内容も本当に新しいし、写真もあり、語り口もいろいろな視点で読みやすいということで、これは所蔵して良いと思いました。

【落合委員】可

悩んで可です。検索ワードでもいろいろな本があるので（所蔵しなくても良いかと思いましたが）やはり値段が決め手です。

【加藤委員】可

私も可にしました。初版の正誤表が最初に入っていたので、初版で買うと誤りがあるのかと思いましたが、やはり SNS など偏った情報や偏った知識が入ってくる分野のため、きちんと一冊の本として所蔵することは良いだろうと思いました。この資料も後半に学校教育という視点で書かれている章があり、個人的にはすごく興味深かったです。

【野地委員】可

私も可にしました。話題の天皇制は今後変化していくというところでは、成り立ちから知っておくことも必要だと思いますので、可にしました。

【佐野委員長】

こちらについては全員一致で可となりました。

選書資料6『近世日本国際関係論』について

結論：可

【佐野委員長】可

自分は可にしました。視点は面白いと思います。ちょっとタイトルで損しているという印象です。このタイトルだけでは手に取らないだろうと思うのですが、中を見ると意外に文章が平易で読みやすく、視点も面白いのではないかとということで、可にしました。

【落合委員】可

私も悩んだのですが、可にしました。中に人的ネットワークという項目があり、それがとても面白そうだと思います。

【加藤委員】可

私も可にしました。佐野委員長と一緒に、タイトルで損しているという印象はあります。資料的な意味付け、価値付けが高いのかと思います。手に取ったら、意外と読み物として楽しめる印象だったため、可にしました。

【野地委員】可

私も可にしました。視点が面白いと思いました。また、貸し出しの履歴を見て、やはり近代に着目しているという点では、興味がある方も多いだろうと思いますので、所蔵して良いのではないかと思います。

【白木副委員長】不可

私だけ不可です。まずタイトルに惹かれないので、私なら手に取るかという疑問があります。内容が良くても、まず手に取ってもらわないことにはその良さは分からないと思います。そのため不可です。

【佐野委員長】

6冊目は多数決で可とします。

ということで今日の6冊については6冊とも可ということで決めさせていただきたいと
思います。よろしくお願いします。

(2) その他について

発言無し

【宮崎】

長時間にわたり、ご協議いただきましてありがとうございました。第2回の選書委員会は1
月頃を予定しておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。これをもちまして、令
和8年度第1回小牧市立図書館選書委員会を終了いたします。本日はご多忙のところご参加
いただきましてありがとうございました。